



平成 20 年 5 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 A O K I ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 青 木 拓 憲
 (コード番号 8214 東証・大証第一部)
 問合せ先 専務取締役 中 村 憲 侍
 (TEL 045-941-4888)

(訂正)平成 20 年 3 月期決算短信の一部訂正について

平成 20 年 5 月 15 日に公表いたしました「平成 20 年 3 月期 決算短信」に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。内容は特別損失の勘定科目間の金額の訂正及びそれに係わる各項目の金額訂正(一部項目削除)であり、当期純利益に影響はありません。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正箇所 6 ページ

1 経営成績

(2) 財政状態に関する分析

キャッシュ・フローの状況

<訂正前>

営業活動によるキャッシュ・フローは、154 億 28 百万円(前年同期比 111.0%増)の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が 108 億 80 百万円、減価償却費 45 億 87 百万円、減損損失が 17 億 44 百万円 及び・・・

<訂正後>

営業活動によるキャッシュ・フローは、154 億 28 百万円(前年同期比 111.0%増)の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が 108 億 80 百万円、減価償却費 44 億 49 百万円、減損損失が 18 億 86 百万円 及び・・・

2. 訂正箇所 9 ページ

4 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

<訂正前>

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年3月31日)		当連結会計年度 (平成20年3月31日)		比較増減 金額(百万円)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)		
固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物及び構築物	1	73,510	35,368	<u>79,927</u>	39,288	3,920	
減価償却累計額		38,141		<u>40,638</u>			
(2) 器具備品及び運搬具		8,923	5,543	<u>9,452</u>	5,644	100	
減価償却累計額		3,379		<u>3,808</u>			
(3) 土地	1		25,808		26,501	692	
(4) 建設仮勘定			971		996	25	
有形固定資産合計			67,692	46.4	72,432	47.5	4,739

< 訂正後 >

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年3月31日)		当連結会計年度 (平成20年3月31日)		比較増減 金額(百万円)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)		
固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物及び構築物	1	73,510		<u>79,808</u>			
減価償却累計額		38,141	35,368	<u>40,519</u>	39,288	3,920	
(2) 器具備品及び運搬具		8,923		<u>9,434</u>			
減価償却累計額		3,379	5,543	<u>3,790</u>	5,644	100	
(3) 土地	1		25,808		26,501	692	
(4) 建設仮勘定			971		996	25	
有形固定資産合計			67,692	46.4	72,432	47.5	4,739

3. 訂正箇所 11 ページ

(2) 連結損益計算書

< 訂正前 >

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		比較増減 金額(百万円)	
		金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)		
特別損失							
1 差入保証金・敷金解約損		8		43			
2 固定資産除却損	2	286		<u>280</u>			
3 固定資産売却損	3	0		7			
4 減損損失	4	854		<u>1,744</u>			
5 原状復旧費用負担金		225					
6 賃貸借契約解約に伴う 損失	5	131		14			
7 その他	6	69	1.4	<u>323</u>	2,414	1.9	838
税金等調整前当期 純利益			10,341	9.2	10,880	8.3	538

< 訂正後 >

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		比較増減 金額(百万円)	
		金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)		
特別損失							
1 差入保証金・敷金解約損		8		43			
2 固定資産除却損	2	286		<u>295</u>			
3 固定資産売却損	3	0		7			
4 減損損失	4	854		<u>1,886</u>			
5 原状復旧費用負担金		225					
6 賃貸借契約解約に伴う 損失	5	131		14			
7 その他	6	69	1.4	<u>166</u>	2,414	1.9	838
税金等調整前当期 純利益			10,341	9.2	10,880	8.3	538

4. 訂正箇所 14 ページ

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

< 訂正前 >

		前連結会計年度 (自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年 4月 1日 至 平成20年 3月31日)	比較増減	
区分	注記 番号	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	
営業活動によるキャッシュ・フロー					
1		税金等調整前当期純利益	10,341	10,880	538
2		減価償却費	3,871	4,587	716
3		減損損失	854	1,744	890
4		負ののれん償却額	589	658	69
5		退職給付引当金増加額	6	38	31
6		役員退職慰労引当金増加額(は減少)	63	102	165
7		ポイント引当金増加額	53	39	13
8		受取利息及び配当金	138	172	34
9		支払利息	227	248	21
10		差入保証金・敷金解約損	8	43	35
11		有形固定資産除売却損	216	201	15
12		関係会社株式売却益	156		156
13		営業譲渡益		77	77
14		新株予約権戻入益		148	148
15		原状復旧費用負担金	225		225
16		売上債権の増加額	845	565	280
17		たな卸資産の減少額(は増加)	442	389	832
18		仕入債務の増加額(は減少)	1,668	1,167	2,835
19		その他	1,853	1,628	224
		小計	13,879	19,243	5,363

< 訂正後 >

		前連結会計年度 (自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年 4月 1日 至 平成20年 3月31日)	比較増減	
区分	注記 番号	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	
営業活動によるキャッシュ・フロー					
1		税金等調整前当期純利益	10,341	10,880	538
2		減価償却費	3,871	4,449	578
3		減損損失	854	1,886	1,032
4		負ののれん償却額	589	658	69
5		退職給付引当金増加額	6	38	31
6		役員退職慰労引当金増加額(は減少)	63	102	165
7		ポイント引当金増加額	53	39	13
8		受取利息及び配当金	138	172	34
9		支払利息	227	248	21
10		差入保証金・敷金解約損	8	43	35
11		有形固定資産除売却損	216	201	15
12		関係会社株式売却益	156		156
13		営業譲渡益		77	77
14		新株予約権戻入益		148	148
15		原状復旧費用負担金	225		225
16		売上債権の増加額	845	565	280
17		たな卸資産の減少額(は増加)	442	389	832
18		仕入債務の増加額(は減少)	1,668	1,167	2,835
19		その他	1,853	1,624	228
		小計	13,879	19,243	5,363

5. 訂正箇所 24、25 ページ

(連結損益計算書関係)

< 訂正前 >

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)																														
<p>2 固定資産除却損の内訳は、次のとおりです。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">91百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">194</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">286</td> </tr> </table> <p>4 減損損失 当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業店舗 13店舗</td> <td>建物 その他</td> <td>東京都 港区他</td> </tr> <tr> <td>転貸店舗 6店舗</td> <td>建物 その他</td> <td>千葉県 船橋市他</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、資産のグルーピングを店舗単位で行っております。 立地環境の変化等により損益が継続してマイナスとなる営業店舗及び転貸店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失(854百万円)として特別損失に計上いたしました。 特別損失の内訳は、建物及び構築物679百万円、その他174百万円です。 なお、当該資産グループの回収可能価額は、正味売却価額又は使用価値により測定しております。正味売却価額については不動産鑑定士による査定額を基準に評価し、使用価値については将来キャッシュ・フローを5.2%から9.3%で割り引いて算出しております。</p>	建物及び構築物	91百万円	その他	194	計	286	用途	種類	場所	営業店舗 13店舗	建物 その他	東京都 港区他	転貸店舗 6店舗	建物 その他	千葉県 船橋市他	<p>2 固定資産除却損の内訳は、次のとおりです。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">132百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">147</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">280</td> </tr> </table> <p>4 減損損失 当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業店舗 28店舗</td> <td>土地、建物 その他</td> <td>横浜市 都筑区他</td> </tr> <tr> <td>転貸店舗 2店舗</td> <td>建物 その他</td> <td>大阪府 門真市他</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、資産のグルーピングを店舗単位で行っております。 立地環境の変化等により損益が継続してマイナスとなる営業店舗及び転貸店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失(1,744百万円)として特別損失に計上いたしました。 特別損失の内訳は、土地539百万円、建物及び構築物996百万円、その他207百万円です。 なお、当該資産グループの回収可能価額は、正味売却価額又は使用価値により測定しております。正味売却価額については不動産鑑定士による査定額を基準に評価し、使用価値については将来キャッシュ・フローを5.0%から9.3%で割り引いて算出しております。</p>	建物及び構築物	132百万円	その他	147	計	280	用途	種類	場所	営業店舗 28店舗	土地、建物 その他	横浜市 都筑区他	転貸店舗 2店舗	建物 その他	大阪府 門真市他
建物及び構築物	91百万円																														
その他	194																														
計	286																														
用途	種類	場所																													
営業店舗 13店舗	建物 その他	東京都 港区他																													
転貸店舗 6店舗	建物 その他	千葉県 船橋市他																													
建物及び構築物	132百万円																														
その他	147																														
計	280																														
用途	種類	場所																													
営業店舗 28店舗	土地、建物 その他	横浜市 都筑区他																													
転貸店舗 2店舗	建物 その他	大阪府 門真市他																													

< 訂正後 >

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)																														
<p>2 固定資産除却損の内訳は、次のとおりです。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">91百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">194</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">286</td> </tr> </table> <p>4 減損損失 当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業店舗 13店舗</td> <td>建物 その他</td> <td>東京都 港区他</td> </tr> <tr> <td>転貸店舗 6店舗</td> <td>建物 その他</td> <td>千葉県 船橋市他</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、資産のグルーピングを店舗単位で行っております。 立地環境の変化等により損益が継続してマイナスとなる営業店舗及び転貸店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失(854百万円)として特別損失に計上いたしました。 特別損失の内訳は、建物及び構築物679百万円、その他174百万円です。 なお、当該資産グループの回収可能価額は、正味売却価額又は使用価値により測定しております。正味売却価額については不動産鑑定士による査定額を基準に評価し、使用価値については将来キャッシュ・フローを5.2%から9.3%で割り引いて算出しております。</p>	建物及び構築物	91百万円	その他	194	計	286	用途	種類	場所	営業店舗 13店舗	建物 その他	東京都 港区他	転貸店舗 6店舗	建物 その他	千葉県 船橋市他	<p>2 固定資産除却損の内訳は、次のとおりです。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">132百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">162</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">295</td> </tr> </table> <p>4 減損損失 当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業店舗 28店舗</td> <td>土地、建物 その他</td> <td>横浜市 都筑区他</td> </tr> <tr> <td>転貸店舗 2店舗</td> <td>建物 その他</td> <td>大阪府 門真市他</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、資産のグルーピングを店舗単位で行っております。 立地環境の変化等により損益が継続してマイナスとなる営業店舗及び転貸店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失(1,886百万円)として特別損失に計上いたしました。 特別損失の内訳は、土地539百万円、建物及び構築物1,116百万円、その他230百万円です。 なお、当該資産グループの回収可能価額は、正味売却価額又は使用価値により測定しております。正味売却価額については不動産鑑定士による査定額を基準に評価し、使用価値については将来キャッシュ・フローを5.0%から9.3%で割り引いて算出しております。</p>	建物及び構築物	132百万円	その他	162	計	295	用途	種類	場所	営業店舗 28店舗	土地、建物 その他	横浜市 都筑区他	転貸店舗 2店舗	建物 その他	大阪府 門真市他
建物及び構築物	91百万円																														
その他	194																														
計	286																														
用途	種類	場所																													
営業店舗 13店舗	建物 その他	東京都 港区他																													
転貸店舗 6店舗	建物 その他	千葉県 船橋市他																													
建物及び構築物	132百万円																														
その他	162																														
計	295																														
用途	種類	場所																													
営業店舗 28店舗	土地、建物 その他	横浜市 都筑区他																													
転貸店舗 2店舗	建物 その他	大阪府 門真市他																													

<訂正前>

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
5 賃貸借契約解約に伴う違約金等です。	5 同左
6 特別損失のその他の内訳は、次のとおりです。	6 特別損失のその他の内訳は、次のとおりです。
リース解約損 15百万円	リース解約損 28百万円
貸倒引当金繰入額 12	貸倒引当金繰入額 45
店舗閉鎖に伴う未払給与等 42	店舗閉鎖に伴う固定資産除却予定額等 158
計 69	投資有価証券評価損 43
	その他 48
	計 323

<訂正後>

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
5 賃貸借契約解約に伴う違約金等です。	5 同左
6 特別損失のその他の内訳は、次のとおりです。	6 特別損失のその他の内訳は、次のとおりです。
リース解約損 15百万円	リース解約損 28百万円
貸倒引当金繰入額 12	貸倒引当金繰入額 45
店舗閉鎖に伴う未払給与等 42	投資有価証券評価損 43
計 69	その他 49
	計 166

6. 訂正箇所 30 ページ

(セグメント情報)

1 事業の種類別セグメント情報

当連結会計年度(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

<訂正前>

	ファッション事業 (百万円)	アニヴェルセル・ブライダル事業 (百万円)	エンターテインメント事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出							
資産	83,284	33,300	16,852		133,437	19,081	152,519
減価償却費	2,357	1,027	1,162	0	4,548	38	4,587
減損損失	603		1,115		1,718	25	1,744
資本的支出	4,926	2,749	2,103		9,779	19	9,798

<訂正後>

	ファッション事業 (百万円)	アニヴェルセル・ブライダル事業 (百万円)	エンターテインメント事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出							
資産	83,284	33,300	16,852		133,437	19,081	152,519
減価償却費	2,357	1,027	1,024	0	4,411	38	4,449
減損損失	603		1,257		1,860	25	1,886
資本的支出	4,926	2,749	2,103		9,779	19	9,798

以上